

富山高等専門学校技術振興会寄付金

令和4年度 (R4.10.1~R5.9.30) 事業報告

1. 共同研究助成事業 (予算額 : 1,600,000 円、執行額 : 1,600,818 円)

以下のとおり、富山高専教員と会員企業との共同研究等を実施した。会員企業と共同研究を実施した。研究に対する助成については、対象となった 29 件 (共同研究全体 74 件) に助成を実施した。

2. 研究会等助成事業 (予算額 : 1,100,000 円、執行額 : 874,000 円)

① コラボフォーラム等の研究会の実施

以下のとおり、コラボフォーラム等の研究会を実施した。

○ 令和4年度研究推進フォーラムの開催

富山高専の教職員・学生の研究を高度化することを目的として、研究推進フォーラムを開催した。富山高専卒業生による英語での講演や専攻科生による英語でのポスター発表を行った。

・開催日時 : 令和5年1月12日 (木) 13:00~15:50

・参加者 : 70名 (技術振興会会員、シニアフェロー、教職員、専攻科生)

【講演内容】

演題 : 『International development of KOSEN education system
-On the difficulties of working overseas-』

講師 : タイ高専キングモンクット工科大学ラカバン

一般教養科物理部門客員教授 豊嶋 剛司 氏 氏

演題 : 『Research and development related to quantum beam science and technologies』

講師 : 電子・機械類電子情報通信プログラム 准教授 加田 渉 氏

○ とやま KOSEN コラボフォーラムの開催

・開催日時 : 令和5年3月2日 (水) 13:30~17:00

・参加者 : 50名 (技術振興会会員、教職員、学生)

【講演内容】

講演1 技術振興会会員企業との共同研究実施状況報告

演題 : 『合わせガラスのリサイクルに関する研究』

物質化学工学科 教授 高廣 政彦

演題 : 『エリスリトールスラリーの生成と超音波による状態計測』

商船学科 准教授 経田 僚昭

演題 : 『ページめくり機構の高度化・知能化に関する研究』

電気制御システム工学科 准教授 井澤 正樹

講演2 技術振興会会員企業によるプレゼンテーション

演題 : 『どこにもない、あしたの容器づくり』

武内プレス工業(株)

取締役 製造本部副本部長 兼 滑川本江工場 工場長 田村 広志 氏

演題 : 『お客様のニーズにきめ細かく応える環境分析事業』

ゼオンノース(株) 環境分析事業部 品質保証課 課長 桶谷 香那子 氏

演題 : 『建築事業における電気系、機械系エンジニアの役割』

佐藤工業(株) 建築事業本部 設備部長 城 陽悦 氏

② 教員の海外短期派遣の実施

海外短期派遣の補助は行わなかった。

③共通機器管理に対する助成

富山高専の共通機器管理（NMR 装置等維持費）に係る費用の助成を行った。

3.キャリア教育・就職支援事業（予算額：2,450,000 円、執行額：1,847,250 円）

①技術振興会会員企業への見学等

・県内工場見学・企業見学

令和4年10月28日（金）

コマツNTC株式会社、株式会社北陸LIXIL（電子情報工学科3年生が参加）

株式会社YKK（国際ビジネス学科3年生が参加）

バルチラジャパン株式会社（商船学科3年生が参加）

令和5年9月27日（水）

北陸電力株式会社（電気制御システム工学科3年生が参加）

令和5年9月28日（木）

株式会社不二越、三芝硝材株式会社（機械システム工学科3年生が参加）

富士フィルム富山化学株式会社、シミックCMO株式会社（物質化学工学科3年生が参加）

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

・専攻科授業科目「地域産業学」における工場見学

令和4年12月5日（月）北陸電気工業株式会社

会員企業の工場見学を実施し、学生の進路意識や学習意欲の向上を図った。

②技術振興会会員企業による企業説明会（企業研究会）の支援

令和4年11月2日（参加企業：103社 参加学生：232名）

学生のキャリア教育の一環として、会員企業と懇談できる場を設けることにより、実社会にはどのような企業があり、企業はどのような人材を求めているかを学生自らが研究する機会を提供する目的で実施した。

③産学連携教育（Ti-TEAM）の支援

令和4年11月4日、8日、9日、10日、11日（参加企業：36社、対象学生：1年生）

全学科1年生を対象に、協力いただいた技術振興会企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトを実施した。

※産学連携教育（Ti-TEAM）とは、全学科1学年を対象とした会員企業の事業・業務内容を学ぶ産学連携教育プロジェクトであり、学生チームが担当する会員企業の特徴やデータの活用について事前調査し、取材、レポート作成を経て、多角的な視点から理解を深めることを目標とした事業である。

④海外インターンシップへの支援

海外インターンシップの実施を行わなかった。

⑤学生のキャリアアップのための支援

令和5年1月27日（金）（講師：卒業生6名、対象学生：86名）

学生の進学・職業選択の自己理解と進路形成への認識を深めるため、キャリアガイダンスを実施した。

4. 講演会等開催事業 (予算額：200,000 円、執行額：135,520 円)

講師：講師 富山高等専門学校長 國枝 佳明

演題：「すごいぞ富山高専 ～高専に来て、富山に来て～」

開催日：令和4年11月1日 開催場所：ホテルグランテラス富山

5. コーディネーター支援事業 (予算額：4,800,000 円、執行額：3,557,277 円)

コーディネーターの活動に対する支援を行い、コーディネーター2名体制による産学連携活動の強化を図った。

6. 新規事業・その他支援事業 (予算額：4,068,395 円、執行額：1,218,329 円)

① 新規事業の実施支援

新規事業への補助は行わなかった。

② 技術相談

富山高専教員及びコーディネーターが、会員企業の技術ニーズを掘り起こし、富山高専の技術シーズを紹介した。

○技術相談：19件 (技術振興会企業以外の企業含む)

③ シニアフェローによる教育・研究支援

以下のとおり、教育に対する助言等の支援を行った。

○令和4年度研究推進フォーラム

実施日：令和5年1月12日(木) 13:00～15:50

参加いただいたシニアフェロー (順不同 ※技術振興会企業)

- ・渡辺 亮介 (株式会社NFA R&D 代表取締役*)
- ・東出 悦子 (株式会社アイペック 代表取締役*)
- ・田中 伸幸 (ティーエヌケー株式会社 代表取締役*)
- ・藤田 正良 (元国立高等専門学校機構)
- ・津野 武義 (LAUREL CO.,LTD. ITネットワーク開発事業部)

○令和4年度 専攻科・エコデザイン工学専攻「特別演習」成果発表会

実施日：令和5年7月26日(水) 13:00～15:00

実施方法：Microsoft Teams によるオンライン配信

参加いただいたシニアフェロー (順不同)

- ・湯畑 功二 (国立大学法人富山大学)
- ・磯野 俊太 (ゼオンノース株式会社 代理出席)
- ・藤田 正良 (元国立高等専門学校機構)
- ・碓井 優介 (日産エンジニアリング株式会社 エンジニアリング部)
- ・生地 弘 (株式会社三田商會 砺波営業所 所長)
- ・水口 靖裕 (株式会社KOKUSAI ELECTRIC システム開発本部 ソフトウェア開発部)
- ・米澤 久恵 (コーセル株式会社 R&D センターCS 開発部 CS 課)

○「技術と環境」

内容：専攻科生向けに開講している授業科目において以下の講義を行った。

- ・令和5年6月20日(火) 岡 譲二 (株式会社エネドリーム 代表取締役)
- ・令和5年6月27日(火) 高木 悦朗 (TSK株式会社 代表取締役会長)
- ・令和5年7月11日(火) 熊西 勝己 (株式会社宮本工業所 執行役員技術部長)
- ・令和5年7月18日(火) 東出 悦子 (株式会社アイペック 代表取締役)

・令和5年7月25日（火） 上田 一人（株式会社Eアル 代表取締役）

④企業人材育成に対する支援事業

企業人材育成事業に対する支援は行わなかった。

⑤情報発信

○技術振興会ホームページ及びメールによる情報発信

内容：富山高等専門学校技術振興会ホームページを更新し、イベントなどの実施状況について情報発信を行った。

※富山高等専門学校技術振興会の URL：<https://www.nc-toyama.ac.jp/tech/>

○会員名板の更新

内容：富山高等専門学校の両キャンパスに設置してある技術振興会会員の名板プレートを更新を行った。

○会員企業情報の紹介

内容：富山高等専門学校の両キャンパスに設置してあるデジタルサイネージにより、技術振興会会員企業の企業情報の紹介を行った。

合計予算額：14,228,395 円、合計執行額：9,233,194 円、繰越額：4,995,201 円